

ラリタ・パノーティコーン 研究員(タイ)



私はタイのバンコクから来ました、ラリタ・パノーティコーンと申します。タンマサート大学の法学の修士課程を卒業し、内務省防災局(DDPM)で働いています。私は DDPM の防災政策課に属し、計画・政策アナリストとして、主に政策、ガイドラインの作成、防災・減災の評価をおこなっています。DDPM は、タイ国において防災分野の活動を実施する主たる政府機関として位置づけられております。

私の国タイの紹介を少しだけさせていただきます。タイは東南アジアの中央に位置し、国土は、森林の地域や高地、低地、海岸線、諸島で構成されています。またタイは、北東から吹くモンスーン（季節風）と南西から吹くモンスーンの影響を強く受けており、洪水、干ばつ、地すべり、暴風などの多くの自然災害に見舞われてきました。

2012 年 4 月 24 日に内閣が危機対応の体制を強化するためのガイドラインを承認しました。政府の管理システムが課題に対応し、効率的にサービスが届けられるように見直しが行われました。DDPM は、そのガイドラインに従い、2015 年に国家災害リスク管理計画における災害リスク管理の原則を策定しました。国家災害リスク管理計画では政府機関が事業継続計画を策定することが定められています。日本の事業継続や防災対策のシステムは優れており、タイにとって参考となる優良事例であると考えています。